

(一社)北海道商工会議所連合会 中小企業景況調査報告書

第165回 調査概要

- ・調査対象期間 : 2022年1~3月期 実績
2022年4~6月期 見通し
- ・回答数 : 357社
- ・発行日 : 2022年4月27日
- ・調査要領(URL) : <https://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

今期業況・来期見通し

業況、売上、採算いずれもマイナス幅を拡大、業況は全業種悪化、特に製造業で影響大
来期は、先行きが見えず、資源価格高騰等の要因も加わり、回復の足取りは重い

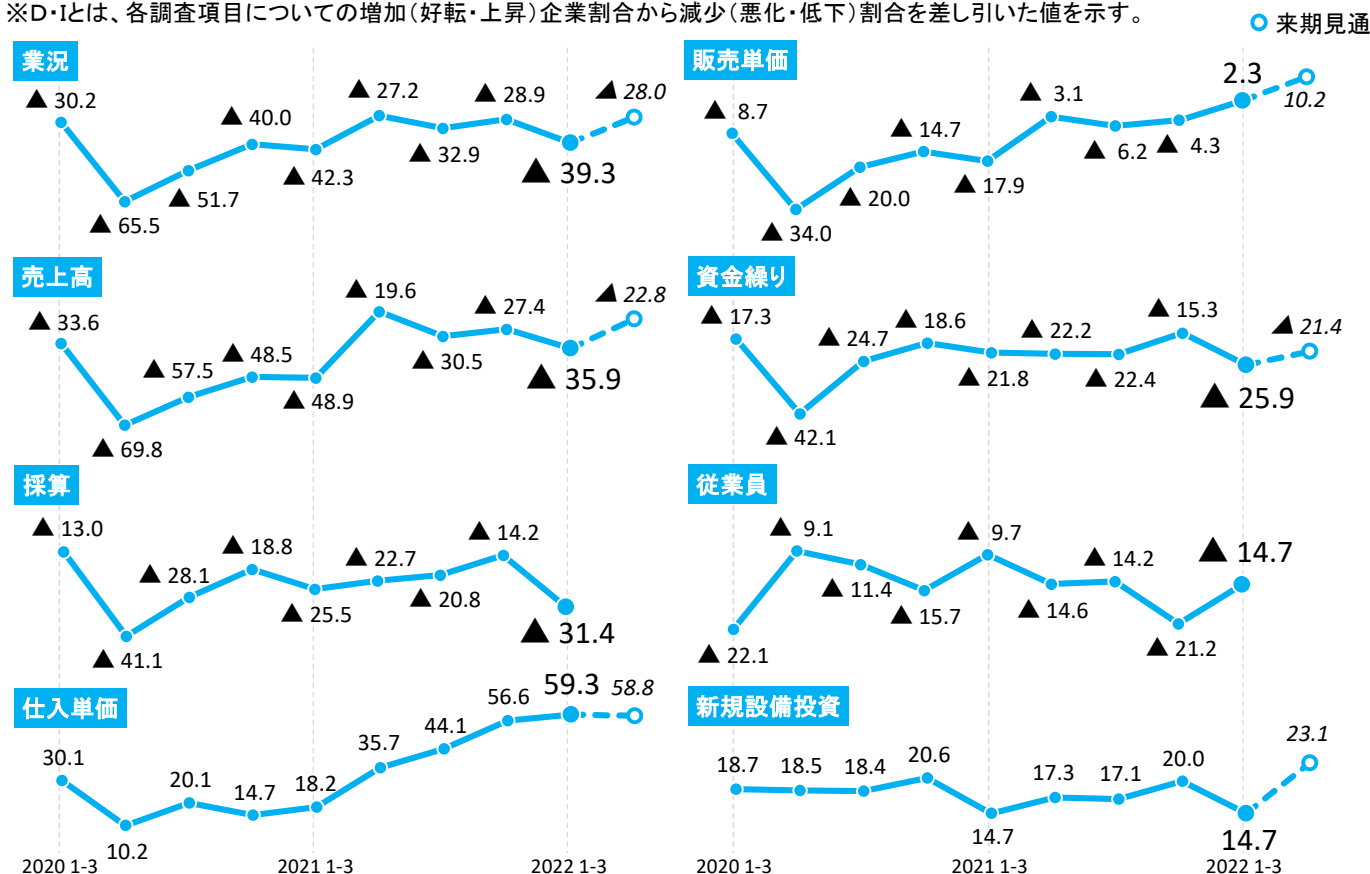
■主なコメント

- ・工事受注量は昨年より10%程度増加しているが、資機材価格等高騰の影響により、利益率は低下している。
今後は更に資機材、燃料価格等の高騰により、利益を圧迫すると予想している。 (総合工事業)
- ・まん延防止等重点措置の影響が大きく、外食産業、宿泊施設向けの売上が大きく減少した。
措置は解除されたが、感染不安は続いており、回復まで時間がかかると思う。 (食料品小売業)
- ・コロナの終息が不透明な中、インバウンドは見込めず、また、国内個人客の獲得にも苦戦している。
物価の上昇、エネルギーの高騰等により経費の節減にも限度があり、収益確保に苦悩している。 (宿泊業)

■全産業D・I

	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6(見通)
業況	▲ 30.2	▲ 65.5	▲ 51.7	▲ 40.0	▲ 42.3	▲ 27.2	▲ 32.9	▲ 28.9	▲ 39.3	▲ 28.0
売上高	▲ 33.6	▲ 69.8	▲ 57.5	▲ 48.5	▲ 48.9	▲ 19.6	▲ 30.5	▲ 27.4	▲ 35.9	▲ 22.8
採算	▲ 13.0	▲ 41.1	▲ 28.1	▲ 18.8	▲ 25.5	▲ 22.7	▲ 20.8	▲ 14.2	▲ 31.4	-
仕入単価	30.1	10.2	20.1	14.7	18.2	35.7	44.1	56.6	59.3	58.8
販売単価	▲ 8.7	▲ 34.0	▲ 20.0	▲ 14.7	▲ 17.9	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 4.3	2.3	10.2
資金繰り	▲ 17.3	▲ 42.1	▲ 24.7	▲ 18.6	▲ 21.8	▲ 22.2	▲ 22.4	▲ 15.3	▲ 25.9	▲ 21.4
従業員	▲ 22.1	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 15.7	▲ 9.7	▲ 14.6	▲ 14.2	▲ 21.2	▲ 14.7	-
新規設備投資	18.7	18.5	18.4	20.6	14.7	17.3	17.1	20.0	14.7	23.1

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は今期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。

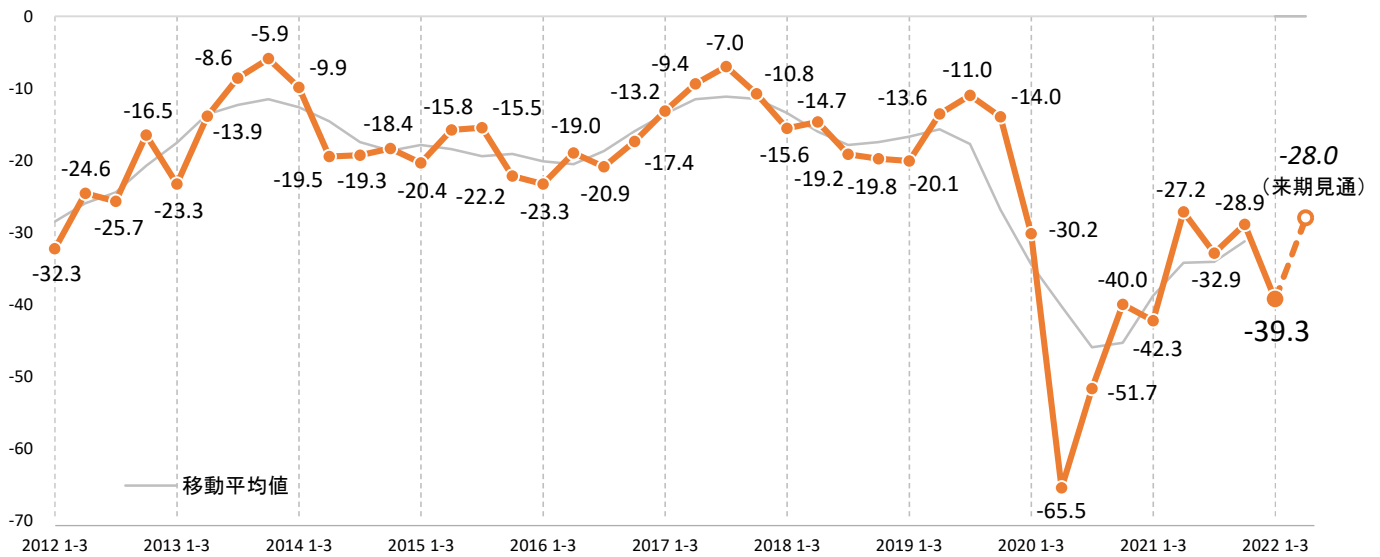


I. 業況

1. 今期

前年同期比 (2021年1~3月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I <<好転-悪化>>



業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	増減率	好転	悪化	
全業種	▲ 39.3	6.8%	47.1%	46.1%	▲ 28.9
製造	▲ 47.3	5.3%	42.1%	52.6%	▲ 23.6
建設	▲ 27.7	5.6%	61.1%	33.3%	▲ 22.5
卸売	▲ 35.1	8.8%	47.3%	43.9%	▲ 29.3
小売	▲ 47.7	6.0%	40.3%	53.7%	▲ 36.4
サービス	▲ 38.6	8.3%	44.8%	46.9%	▲ 32.7

■好転 □不変 ■悪化

前期比 (2021年10~12月期の水準と比較した今期の業況)

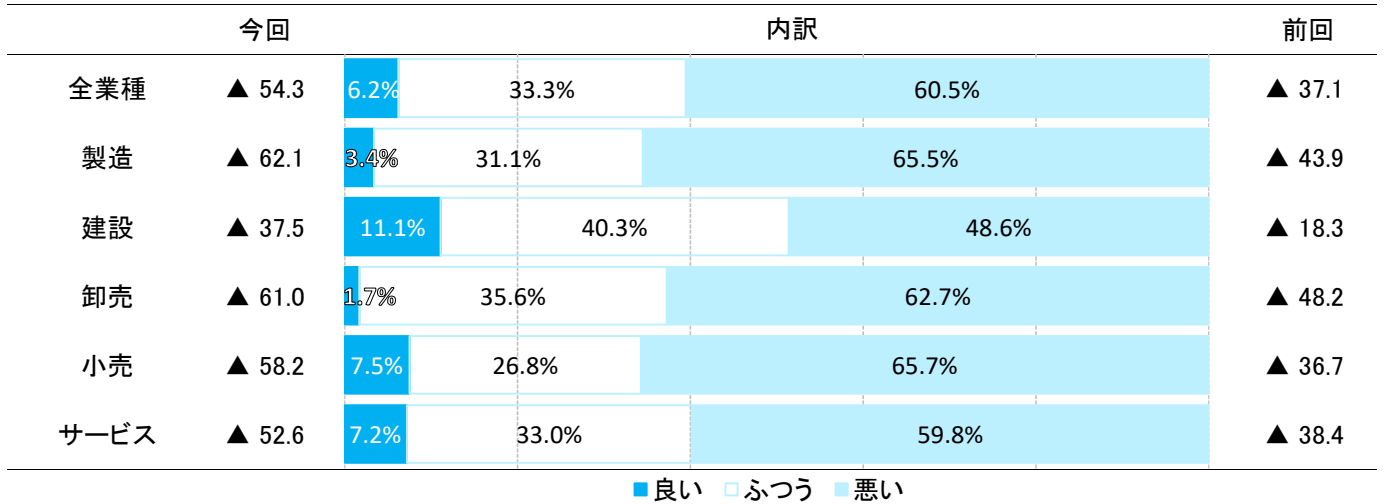
業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	増減率	好転	悪化	
全業種	▲ 44.8	4.5%	46.2%	49.3%	▲ 24.5
製造	▲ 48.0	5.8%	40.4%	53.8%	▲ 13.4
建設	▲ 31.0	5.6%	57.8%	36.6%	▲ 18.9
卸売	▲ 50.0	1.8%	46.4%	51.8%	▲ 25.0
小売	▲ 52.4	1.6%	44.4%	54.0%	▲ 38.7
サービス	▲ 42.8	7.7%	41.8%	50.5%	▲ 26.4

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準 (2022年1~3月期の水準)

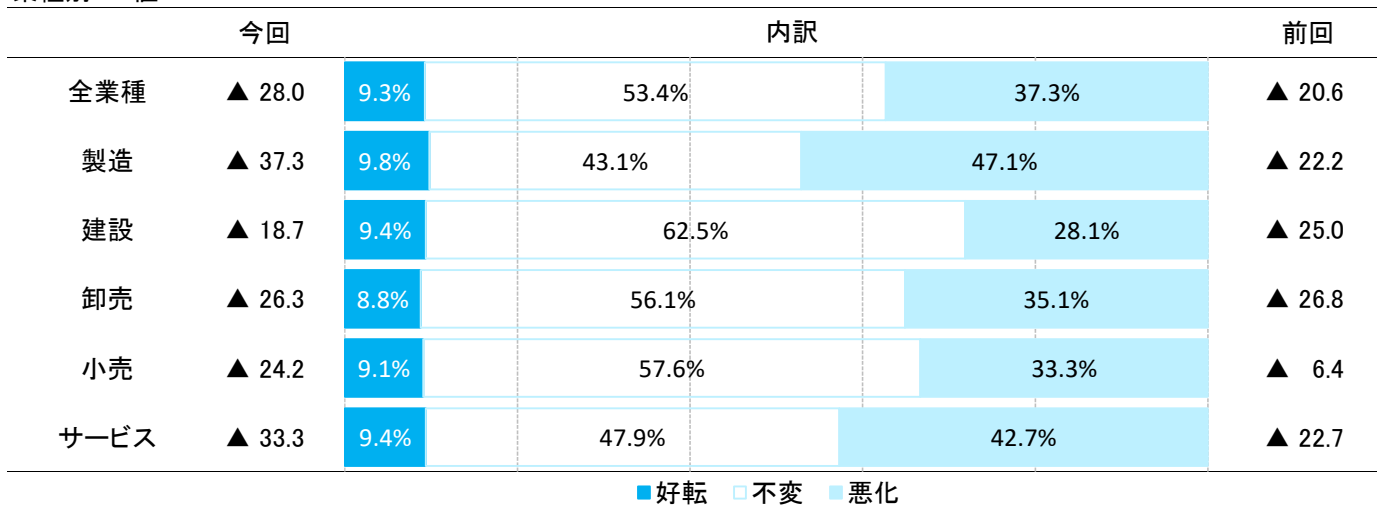
業種別D・I値



2. 来期

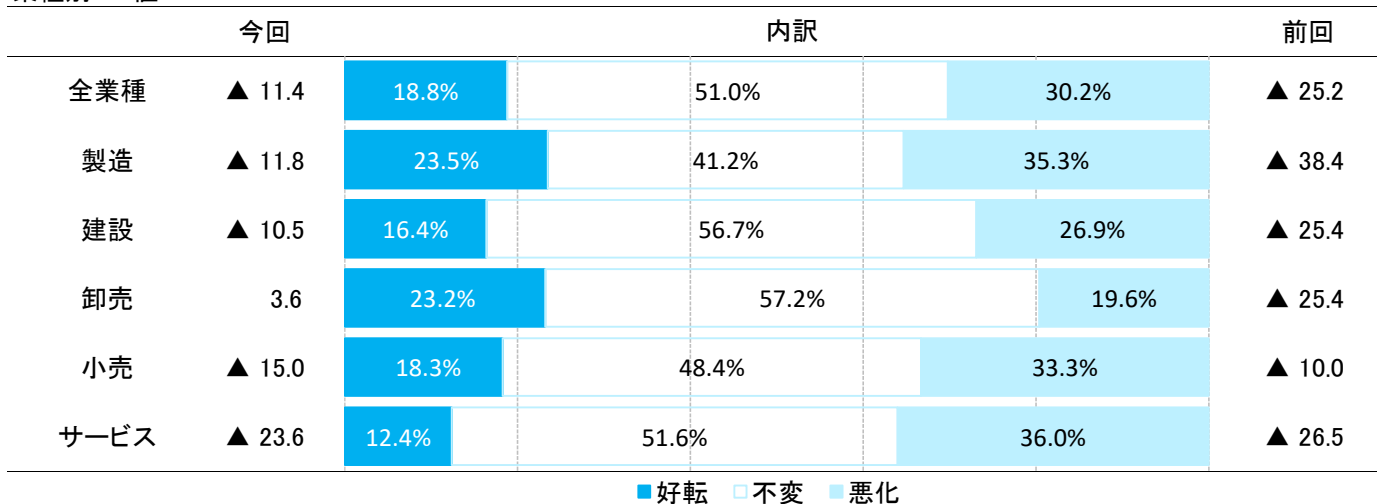
前年同期比 (2021年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値



今期比 (2022年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

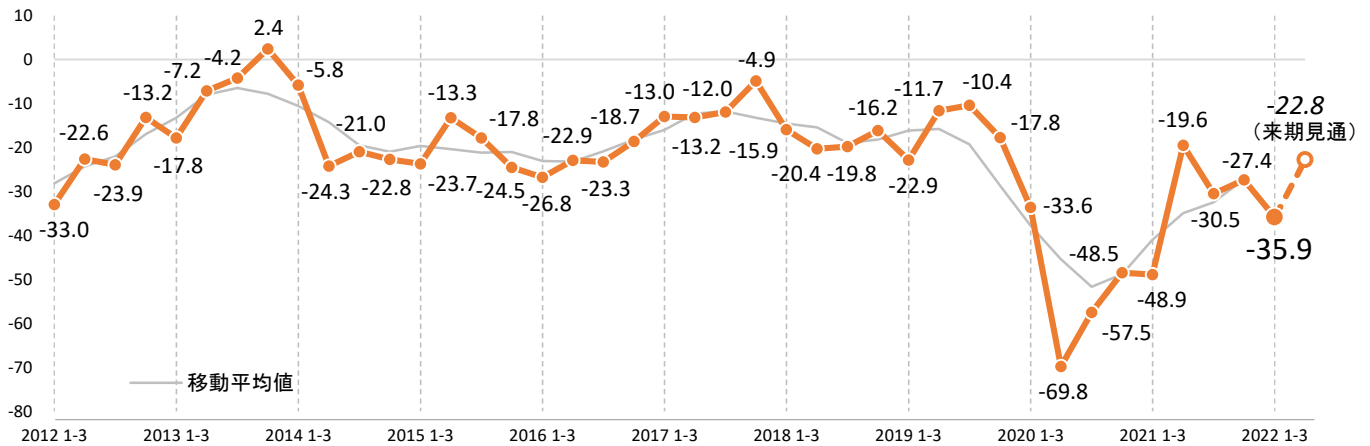


Ⅱ. 売上高

1. 今期

前年同期比 (2021年1~3月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加ー減少≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 35.9	15.5%	33.1%	51.4%	▲ 27.4
製造	▲ 35.6	13.6%	37.2%	49.2%	▲ 26.3
建設	▲ 26.1	16.4%	41.1%	42.5%	▲ 12.3
卸売	▲ 22.1	23.7%	30.5%	45.8%	▲ 19.0
小売	▲ 54.4	10.3%	25.0%	64.7%	▲ 44.2
サービス	▲ 41.2	13.4%	32.0%	54.6%	▲ 35.0

■増加 □不変 ■減少

前期比 (2021年10~12月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 55.1	9.0%	26.9%	64.1%	▲ 16.3
製造	▲ 52.5	11.9%	23.7%	64.4%	▲ 3.6
建設	▲ 39.4	9.9%	40.8%	49.3%	▲ 12.4
卸売	▲ 63.8	8.6%	19.0%	72.4%	▲ 12.3
小売	▲ 67.7	4.4%	23.5%	72.1%	▲ 29.0
サービス	▲ 52.0	10.2%	27.6%	62.2%	▲ 24.2

■増加 □不変 ■減少

2. 来期

前年同期比 (2021年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 22.8	15.2%	46.8%	38.0%	▲ 13.0
製造	▲ 22.8	19.3%	38.6%	42.1%	▲ 7.2
建設	▲ 23.3	9.6%	57.5%	32.9%	▲ 26.4
卸売	▲ 12.0	19.0%	50.0%	31.0%	▲ 6.9
小売	▲ 17.7	14.7%	52.9%	32.4%	▲ 8.7
サービス	▲ 38.1	13.4%	35.1%	51.5%	▲ 16.1

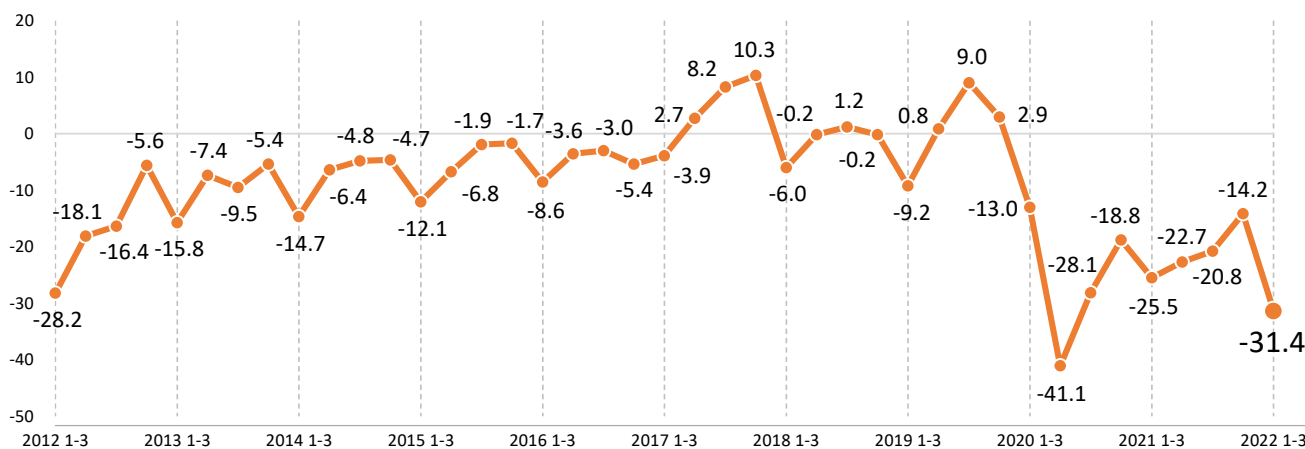
■増加 □不変 ■減少

Ⅲ. 採算(経常利益)

1. 今期

今期の水準 (2022年1~3月期の水準)

全業種平均D・I <<黒字-赤字>>



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		黒字	収支トントン	赤字	
全業種	▲ 31.4	12.6%	43.4%	44.0%	▲ 14.2
製造	▲ 46.6	1.7%	50.0%	48.3%	▲ 25.0
建設	▲ 6.9	25.0%	43.1%	31.9%	7.0
卸売	▲ 40.6	11.9%	35.6%	52.5%	▲ 17.3
小売	▲ 32.9	11.9%	43.3%	44.8%	▲ 17.6
サービス	▲ 30.2	12.5%	44.8%	42.7%	▲ 18.4

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比 (2021年1~3月期の水準と比較した今期の採算)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 46.5	5.6%	42.3%	52.1%	▲ 33.6
製造	▲ 44.8	8.6%	38.0%	53.4%	▲ 41.8
建設	▲ 42.5	4.1%	49.3%	46.6%	▲ 27.4
卸売	▲ 45.8	3.4%	47.4%	49.2%	▲ 24.1
小売	▲ 47.7	7.7%	36.9%	55.4%	▲ 41.1
サービス	▲ 51.6	4.1%	40.2%	55.7%	▲ 33.7

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

来期の水準 (2022年4~6月期の水準)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		好転	不変	悪化	
全業種	▲ 32.4	7.7%	52.2%	40.1%	▲ 26.6
製造	▲ 30.4	10.7%	48.2%	41.1%	▲ 30.9
建設	▲ 36.1	4.2%	55.5%	40.3%	▲ 35.6
卸売	▲ 32.7	5.2%	56.9%	37.9%	▲ 22.4
小売	▲ 24.3	12.1%	51.5%	36.4%	▲ 19.1
サービス	▲ 38.5	6.3%	48.9%	44.8%	▲ 25.0

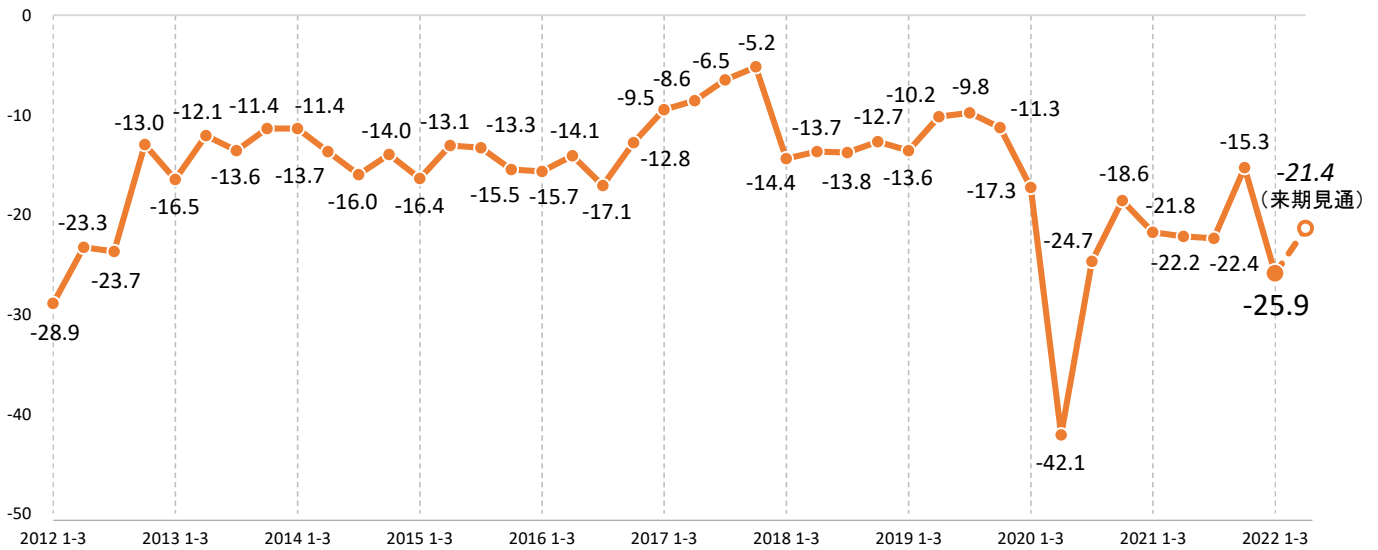
■好転 □不変 ■悪化

IV. 資金繰り

1. 今期

前年同期比 (2021年1~3月期の水準と比較した今期の資金繰り)

全業種平均D・I <<好転ー悪化>>



業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変化率	好転	悪化	
全業種	▲ 25.9	3.9%	66.3%	29.8%	▲ 15.3
製造	▲ 36.3	3.4%	56.9%	39.7%	▲ 21.4
建設	▲ 11.1	5.6%	77.7%	16.7%	▲ 5.6
卸売	▲ 24.2	3.4%	69.0%	27.6%	▲ 12.1
小売	▲ 32.4	2.9%	61.8%	35.3%	▲ 20.9
サービス	▲ 25.3	4.2%	66.3%	29.5%	▲ 16.2

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

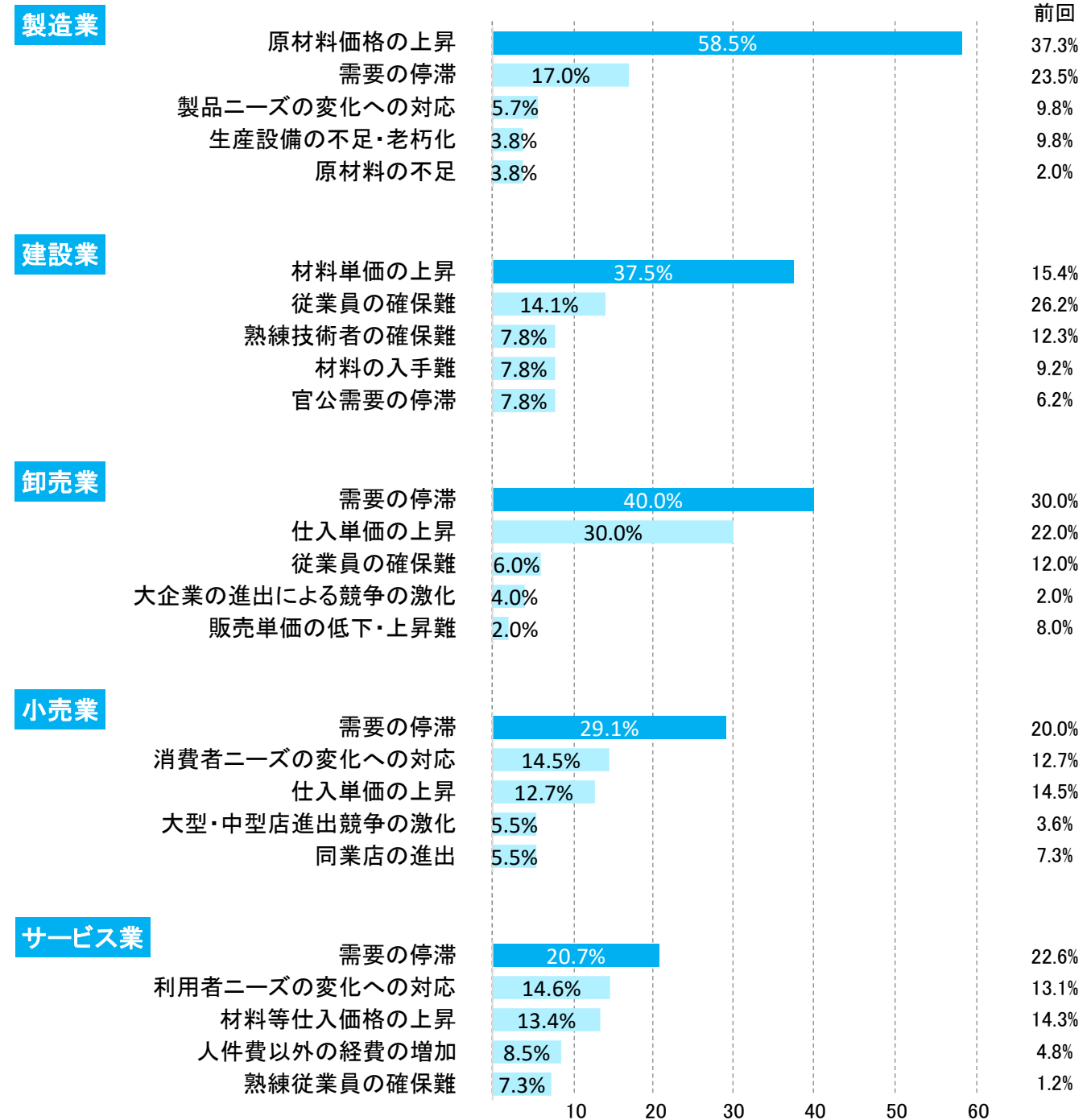
前年同期比 (2021年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変化率	好転	悪化	
全業種	▲ 21.4	4.3%	70.0%	25.7%	▲ 14.3
製造	▲ 24.5	5.3%	64.9%	29.8%	▲ 23.7
建設	▲ 11.2	6.9%	75.0%	18.1%	▲ 7.0
卸売	▲ 21.4	1.8%	75.0%	23.2%	▲ 12.2
小売	▲ 25.4	3.0%	68.6%	28.4%	▲ 15.2
サービス	▲ 24.7	4.3%	66.7%	29.0%	▲ 13.3

■好転 □不変 ■悪化

V. 経営上の問題点(上位5項目)



VI. 従業員の動向

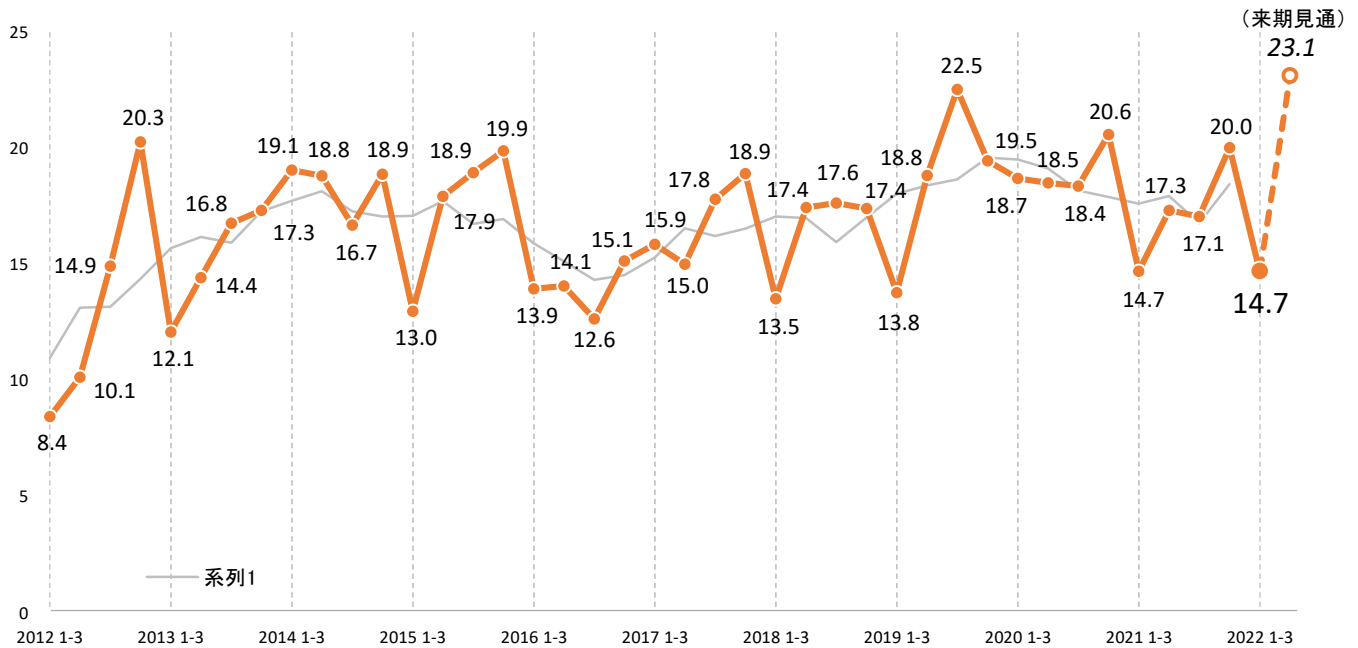
業種別D・I値

業種	今回	内訳		前回
		過剰	不足	
全業種	▲ 14.7	7.7%	22.4%	▲ 21.2
製造	3.5	14.0%	10.5%	▲ 3.7
建設	▲ 39.5	2.8%	42.3%	▲ 48.6
卸売	▲ 23.2	3.6%	26.8%	▲ 19.6
小売	▲ 3.1	7.7%	10.8%	▲ 9.3
サービス	▲ 11.5	10.3%	21.8%	▲ 24.5

■ 過剰 □ 適性 ■ 不足

VII. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



1. 今期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	14.7	17.5	17.1	12.3	11.9	14.7
土地	4.8	0.0	16.7	0.0	0.0	7.1
工場建物、建物、店舗	18.2	0.0	25.0	14.3	37.5	14.3
生産・販売・サービス設備、建設機械	23.4	40.0	25.0	0.0	37.5	14.3
車両運搬具	33.3	20.0	50.0	42.9	25.0	28.6
倉庫・駐車場等の付帯施設	8.3	20.0	0.0	0.0	0.0	21.4
OA機器	37.3	20.0	41.7	57.1	25.0	42.9
厚生施設	3.4	10.0	0.0	0.0	0.0	7.1
その他	8.9	30.0	0.0	0.0	0.0	14.3
実施していない	85.3	82.5	82.9	87.7	88.1	85.3

2. 来期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	23.1	30.4	26.9	19.6	17.9	20.8
土地	7.0	0.0	16.7	0.0	8.3	10.0
工場建物、建物、店舗	25.3	5.9	33.3	27.3	25.0	35.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	28.5	35.3	5.6	36.4	25.0	40.0
車両運搬具	26.5	23.5	38.9	18.2	41.7	10.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	9.4	11.8	11.1	9.1	0.0	15.0
OA機器	22.5	35.3	33.3	9.1	25.0	10.0
厚生施設	4.3	5.9	5.6	0.0	0.0	10.0
その他	13.7	11.8	11.1	27.3	8.3	10.0
実施しない	76.9	69.6	73.1	80.4	82.1	79.2

製造業

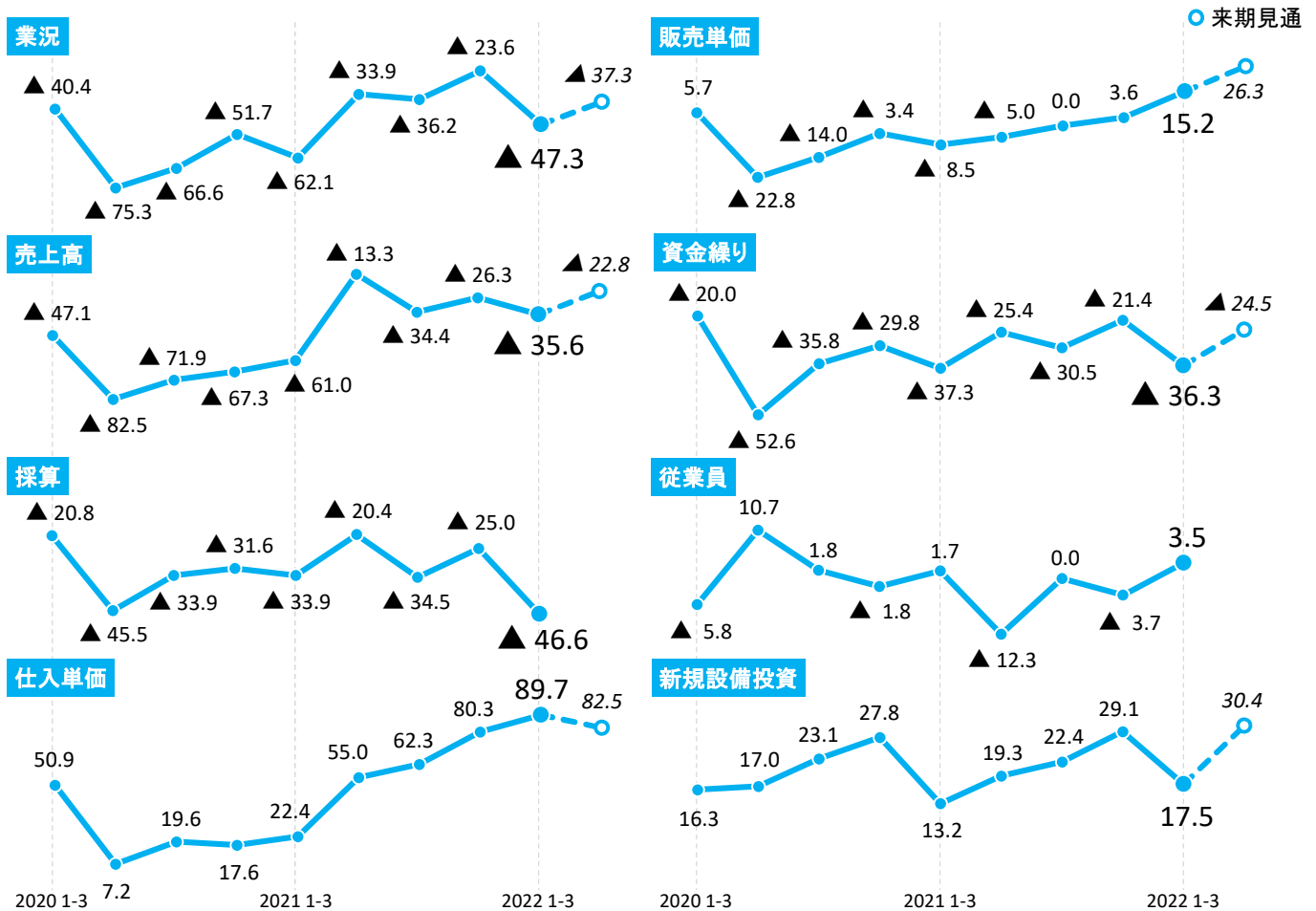
■主なコメント

- ・オミクロン株の流行により、消費が急激に落ち込んだ。昨年後半から仕入価格やエネルギー価格が高騰しているが、東欧情勢の悪化により上昇が加速し、打つ手が無い状況。（食料品製造業）
- ・アルミ材等の値上がりが続いている。販売価格の改定を進めるも追いつかない状況。新型コロナウイルス感染拡大と資材高騰で発注が止まっており、受注環境は先が見通せない。（金属窯業）
- ・紙、インク等様々な資材価格の上昇に伴い、収益力向上のため印刷料金の値上げを検討中。しかしながら、法人、官公庁含め値上げを理解していただくのに苦慮している。（印刷業）

■D・I

	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6(見通)
業況	▲ 40.4	▲ 75.3	▲ 66.6	▲ 51.7	▲ 62.1	▲ 33.9	▲ 36.2	▲ 23.6	▲ 47.3	▲ 37.3
売上高	▲ 47.1	▲ 82.5	▲ 71.9	▲ 67.3	▲ 61.0	▲ 13.3	▲ 34.4	▲ 26.3	▲ 35.6	▲ 22.8
採算	▲ 20.8	▲ 45.5	▲ 33.9	▲ 31.6	▲ 33.9	▲ 20.4	▲ 34.5	▲ 25.0	▲ 46.6	-
仕入単価	50.9	7.2	19.6	17.6	22.4	55.0	62.3	80.3	89.7	82.5
販売単価	5.7	▲ 22.8	▲ 14.0	▲ 3.4	▲ 8.5	▲ 5.0	0.0	3.6	15.2	26.3
資金繰り	▲ 20.0	▲ 52.6	▲ 35.8	▲ 29.8	▲ 37.3	▲ 25.4	▲ 30.5	▲ 21.4	▲ 36.3	▲ 24.5
従業員	▲ 5.8	10.7	1.8	▲ 1.8	1.7	▲ 12.3	0.0	▲ 3.7	3.5	-
新規設備投資	16.3	17.0	23.1	27.8	13.2	19.3	22.4	29.1	17.5	30.4

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



建設業

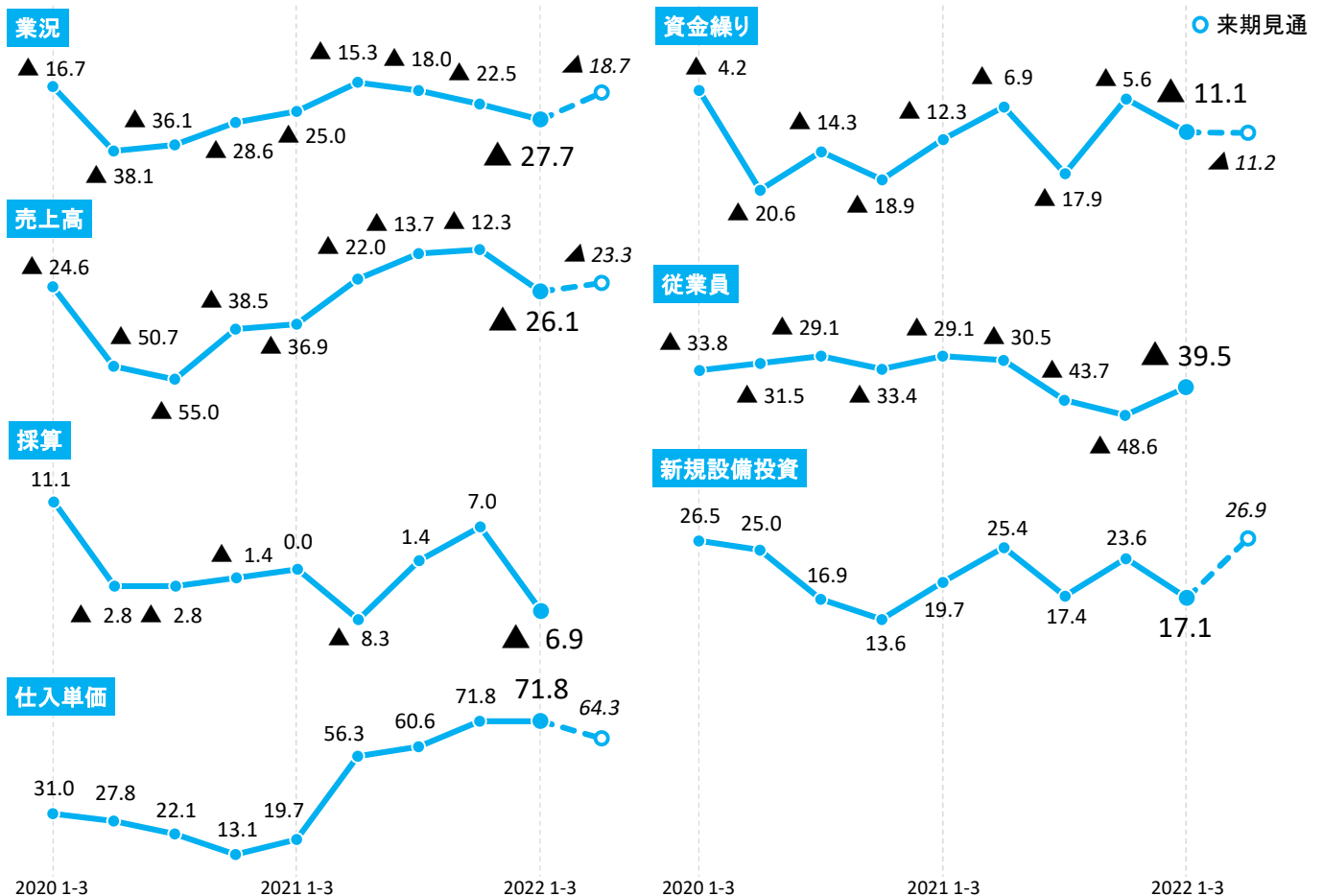
■主なコメント

- ・工事受注量は昨年より10%程度増加しているが、資機材価格等高騰の影響により、利益率は低下している。
 今後は更に資機材、燃料価格等の高騰により、利益を圧迫すると予想している。 (総合工事業)
- ・リフォーム需要はあるものの、材料が入荷できない。半導体不足により、ボイラー等入荷の見通しが立たず、
 結果、売上が先延ばしとなっている。 (一般土木工事業)
- ・各資材、人件費が上昇している上に、ウクライナ問題によって今年の先行きが全く予測できない。
 将来を見据えて人的投資をしなければならないが、躊躇している状況。 (内装工事業)

■D・I

	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6(見通)
業況	▲ 16.7	▲ 38.1	▲ 36.1	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 15.3	▲ 18.0	▲ 22.5	▲ 27.7	▲ 18.7
売上高	▲ 24.6	▲ 50.7	▲ 55.0	▲ 38.5	▲ 36.9	▲ 22.0	▲ 13.7	▲ 12.3	▲ 26.1	▲ 23.3
採算	11.1	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 1.4	0.0	▲ 8.3	1.4	7.0	▲ 6.9	-
仕入単価	31.0	27.8	22.1	13.1	19.7	56.3	60.6	71.8	71.8	64.3
販売単価		-	-	-	-	-	-	-	-	-
資金繰り	▲ 4.2	▲ 20.6	▲ 14.3	▲ 18.9	▲ 12.3	▲ 6.9	▲ 17.9	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 11.2
従業員	▲ 33.8	▲ 31.5	▲ 29.1	▲ 33.4	▲ 29.1	▲ 30.5	▲ 43.7	▲ 48.6	▲ 39.5	-
新規設備投資	26.5	25.0	16.9	13.6	19.7	25.4	17.4	23.6	17.1	26.9

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は今期水準を掲載した。
 ※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



卸売業

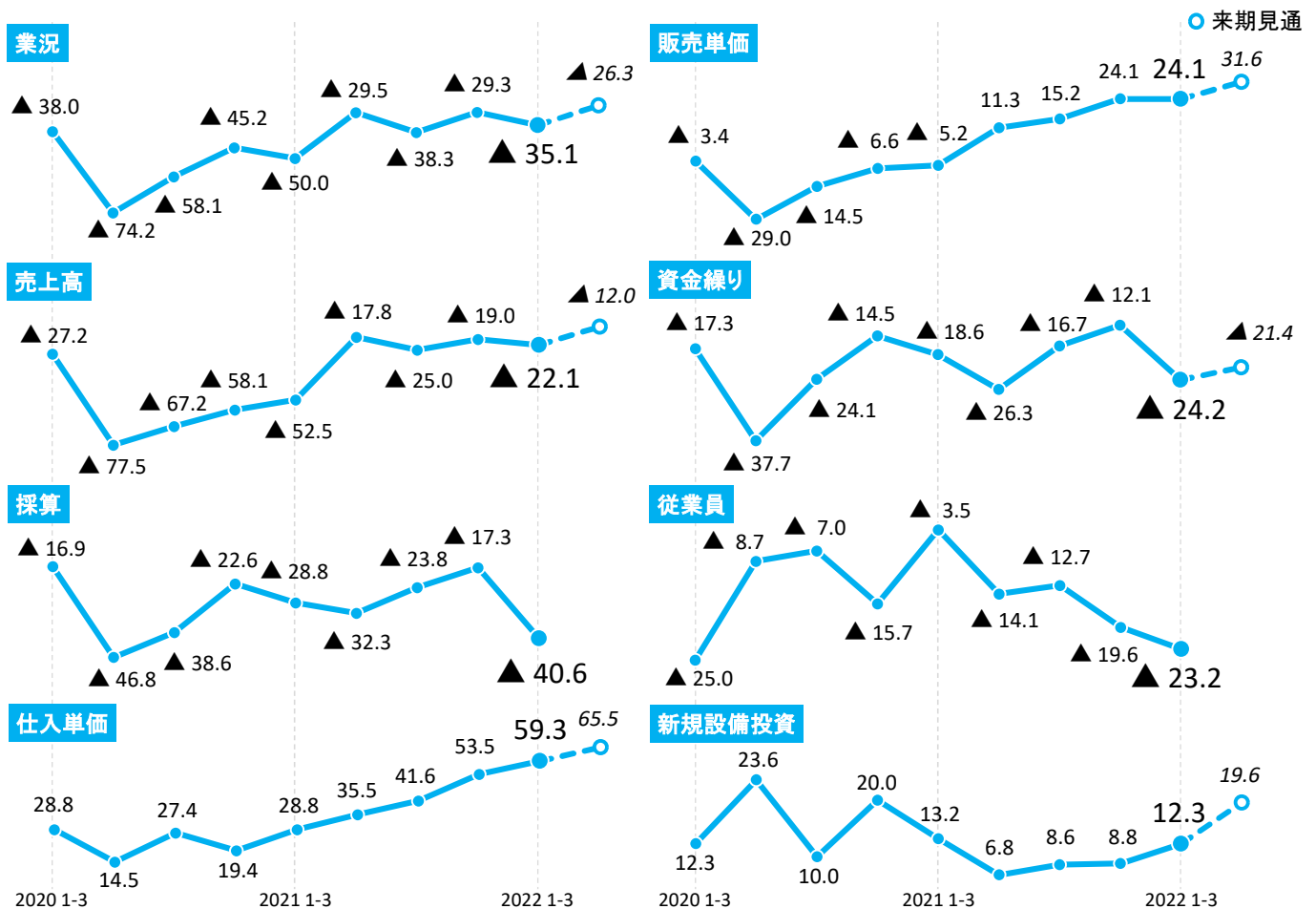
■主なコメント

- ・昨年9月以降、なかなか入荷してこない資材が多々ある。
資材の価格上昇が落ち着かず、現時点では状況が好転する要素がない。 (機械鋼材卸売業)
- ・商品の値上げ、納期遅延が続く中、新築・リフォーム物件の動きが読みづらい。
商品の確保を優先すると、在庫金額も増えてしまい動きが悪い状況。 (建築材料卸売業)
- ・仕入価格が相次いで値上がりしたが、販売価格に転嫁できたため、売上は増加した。
更なる値上げの動きもあるが、今後は転嫁できるか不安である。 (塗料卸売業)

■D・I

	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6(見通)
業況	▲ 38.0	▲ 74.2	▲ 58.1	▲ 45.2	▲ 50.0	▲ 29.5	▲ 38.3	▲ 29.3	▲ 35.1	▲ 26.3
売上高	▲ 27.2	▲ 77.5	▲ 67.2	▲ 58.1	▲ 52.5	▲ 17.8	▲ 25.0	▲ 19.0	▲ 22.1	▲ 12.0
採算	▲ 16.9	▲ 46.8	▲ 38.6	▲ 22.6	▲ 28.8	▲ 32.3	▲ 23.8	▲ 17.3	▲ 40.6	-
仕入単価	28.8	14.5	27.4	19.4	28.8	35.5	41.6	53.5	59.3	65.5
販売単価	▲ 3.4	▲ 29.0	▲ 14.5	▲ 6.6	▲ 5.2	11.3	15.2	24.1	24.1	31.6
資金繰り	▲ 17.3	▲ 37.7	▲ 24.1	▲ 14.5	▲ 18.6	▲ 26.3	▲ 16.7	▲ 12.1	▲ 24.2	▲ 21.4
従業員	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 7.0	▲ 15.7	▲ 3.5	▲ 14.1	▲ 12.7	▲ 19.6	▲ 23.2	-
新規設備投資	12.3	23.6	10.0	20.0	13.2	6.8	8.6	8.8	12.3	19.6

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



小売業

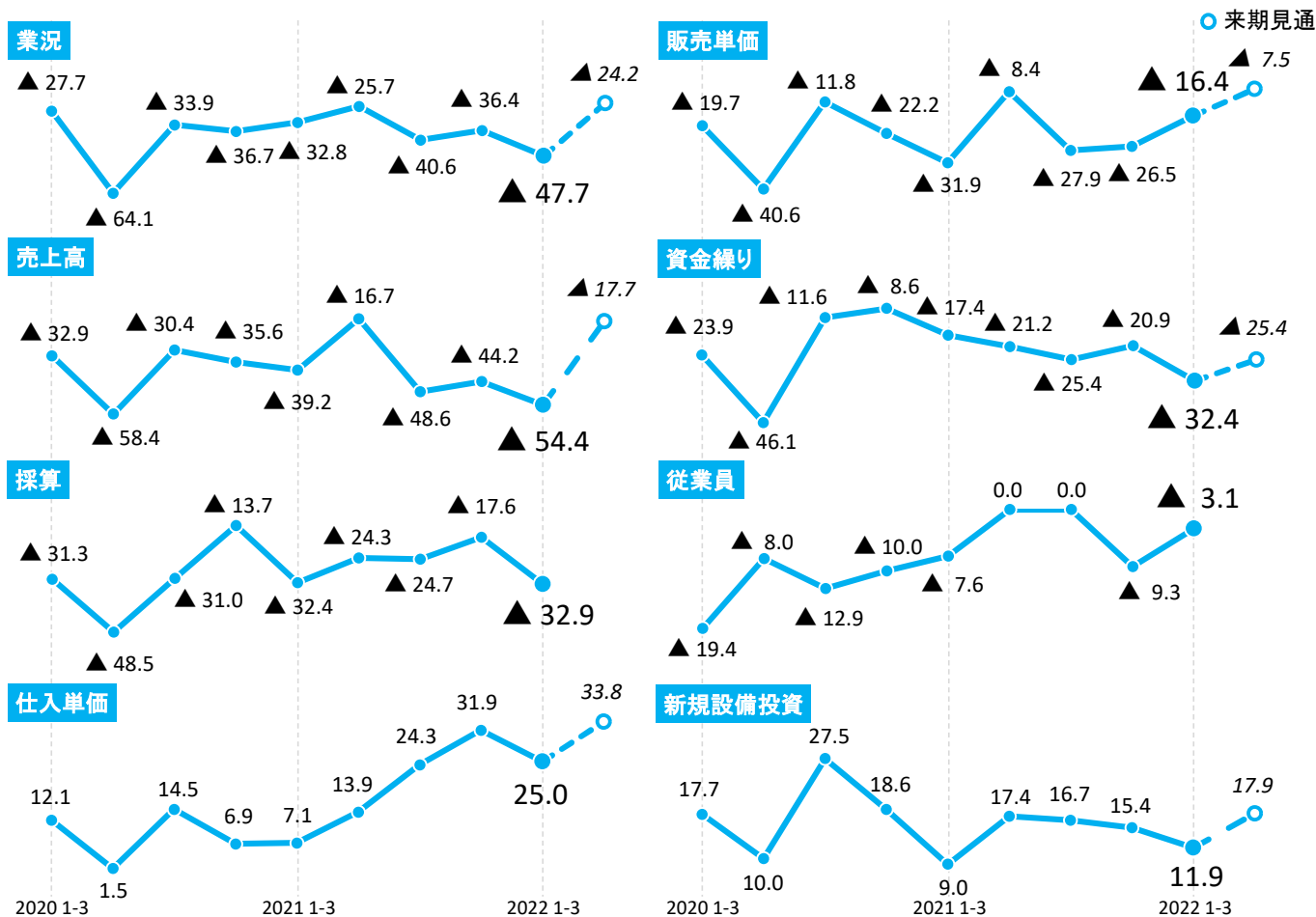
■主なコメント

- ・まん延防止等重点措置の影響が大きく、外食産業、宿泊施設向けの売上が大きく減少した。
措置は解除されたが、感染不安は続いており、回復まで時間がかかると思う。 (食料品小売業)
- ・新車の注文を受けても生産が遅れているため、売上の計上も遅れている。
自動車の点検、修理を担うサービスエンジニアが不足している。 (自動車小売業)
- ・東南アジアでのロックダウン(新型コロナウイルス起因)等による部品供給不足で、
暖房・給湯機器等の商品品薄状態は12月ごろまで続いた。 (家電小売業)

■D・I

	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6(見通)
業況	▲ 27.7	▲ 64.1	▲ 33.9	▲ 36.7	▲ 32.8	▲ 25.7	▲ 40.6	▲ 36.4	▲ 47.7	▲ 24.2
売上高	▲ 32.9	▲ 58.4	▲ 30.4	▲ 35.6	▲ 39.2	▲ 16.7	▲ 48.6	▲ 44.2	▲ 54.4	▲ 17.7
採算	▲ 31.3	▲ 48.5	▲ 31.0	▲ 13.7	▲ 32.4	▲ 24.3	▲ 24.7	▲ 17.6	▲ 32.9	-
仕入単価	12.1	1.5	14.5	6.9	7.1	13.9	24.3	31.9	25.0	33.8
販売単価	▲ 19.7	▲ 40.6	▲ 11.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 8.4	▲ 27.9	▲ 26.5	▲ 16.4	▲ 7.5
資金繰り	▲ 23.9	▲ 46.1	▲ 11.6	▲ 8.6	▲ 17.4	▲ 21.2	▲ 25.4	▲ 20.9	▲ 32.4	▲ 25.4
従業員	▲ 19.4	▲ 8.0	▲ 12.9	▲ 10.0	▲ 7.6	0.0	0.0	▲ 9.3	▲ 3.1	-
新規設備投資	17.7	10.0	27.5	18.6	9.0	17.4	16.7	15.4	11.9	17.9

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



サービス業

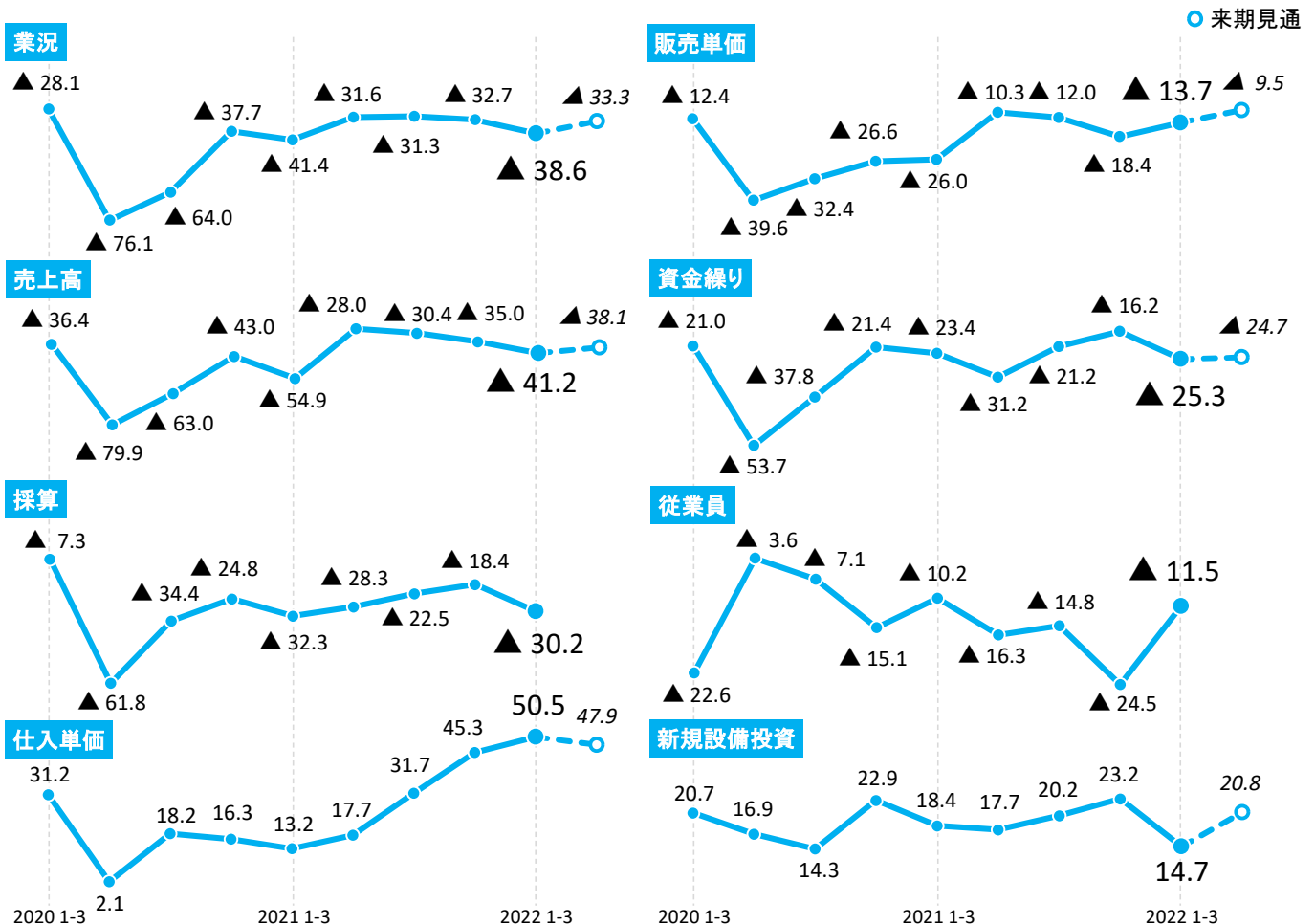
■主なコメント

- ・燃料代の高騰を価格に転嫁したいが、こちらの立場が弱く荷主に強く言えない。
業界全体で改善が進んでいるというが、あまり感じられない。 (運送業)
- ・販売価格に転嫁しきれないほど、仕入価格が上昇している。
営業を再開したが、今後売上を取り戻せるか不安である。 (飲食業)
- ・コロナの終息が不透明な中、インバウンドは見込めず、また、国内個人客の獲得にも苦戦している。
物価の上昇、エネルギーの高騰等により経費の節減にも限度があり、収益確保に苦悩している。 (宿泊業)

■D・I

	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6	2021 7-9	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6(見通)
業況	▲ 28.1	▲ 76.1	▲ 64.0	▲ 37.7	▲ 41.4	▲ 31.6	▲ 31.3	▲ 32.7	▲ 38.6	▲ 33.3
売上高	▲ 36.4	▲ 79.9	▲ 63.0	▲ 43.0	▲ 54.9	▲ 28.0	▲ 30.4	▲ 35.0	▲ 41.2	▲ 38.1
採算	▲ 7.3	▲ 61.8	▲ 34.4	▲ 24.8	▲ 32.3	▲ 28.3	▲ 22.5	▲ 18.4	▲ 30.2	-
仕入単価	31.2	2.1	18.2	16.3	13.2	17.7	31.7	45.3	50.5	47.9
販売単価	▲ 12.4	▲ 39.6	▲ 32.4	▲ 26.6	▲ 26.0	▲ 10.3	▲ 12.0	▲ 18.4	▲ 13.7	▲ 9.5
資金繰り	▲ 21.0	▲ 53.7	▲ 37.8	▲ 21.4	▲ 23.4	▲ 31.2	▲ 21.2	▲ 16.2	▲ 25.3	▲ 24.7
従業員	▲ 22.6	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 15.1	▲ 10.2	▲ 16.3	▲ 14.8	▲ 24.5	▲ 11.5	-
新規設備投資	20.7	16.9	14.3	22.9	18.4	17.7	20.2	23.2	14.7	20.8

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



Ⅷ. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2022年3月
(2) 調査対象期間 2022年1～3月期実績及び2022年4～6月期見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	57	41	60	71	273
中規模	15	16	18	8	27	84
合計	59	73	59	68	98	357
構成比	16.5%	20.4%	16.5%	19.0%	27.5%	100.0%

〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 32社、建設業 36社、卸売業 29社、
小売業 36社、サービス業 55社 合計 188社

■過去の調査結果はコチラ →



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。